

I Care本のしおりにして一か月間生きるよう思い出しましょう。

ルーチョ  
ブラジル

**ち**よっと前から、弟とけんかをして家で難しい状態が続いています。けんかをしないように、学校から帰ったら自分の部屋に閉じこもって、弟がサッカーの練習のために外に出かけるときの扉の音を聞いたら、部屋からですようになっています。サッカーは家族で言い争う一つの理由でした。弟にとって学校よりも大切でした。成績も悪くなるので、両親はもうサッカーを弟から取り上げようと考えていました。

相手の  
立場になる

このことについて、ぼくはあまり関わっていませんでした。それでいいかとも思っていました。

でも弟の立場になってみて、この状態を考えてみました。

今まで家族のだれもが弟がしているサッカーを見に行っていることがないことに気が付きました。それで両親に、アルツールをびっくりさせてあげようと話しました。

試合の半ばごろに弟はぼくたち3人が見に来ているのに気が付き、試合にも気合が入ったようでした。試合が終わるとうれしそうに、近づいてきて、感動していました。

不思議とその日から弟は一生懸命に勉強するようになりました。

ぼくも弟を応援して、そばで宿題を手伝ったりしました。



わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。(ヨハネ6,35)

10

Da un commento di Chiara Lubich - Adattamento Centro Gen 3

**ヨ**ハネ福音書の中には、イエス様がパンを増やされた後、こう話されたことを伝えています。「朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくならないで、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。これこそ、人の子があなたのために与える食べ物である」(ヨハネ6,27) イエス様は、ご自分こそ天からのまことのパンであると告げられ、これを信仰によって信じるよう人々を招かれます。

愛へと

変わる

パン

**イ**エス様はすでに、ご自分を「パン」として示しておられます。人に食されるパンとなること、これが、地上に来てくださったことの最終目的でした。それによって、私たちが彼の命にあずかり、もう一人のイエスへと変えられていくためです。ご聖体こそ、イエス様が人類に与えたいと望まれた最も偉大な贈り物です。ご聖体の秘跡の中に現存されるイエス様ご自身が、私たちの魂と身体を満たし、私たちはイエス様と深く結ばれ、満ち満ちた喜びをいただきます。

パンの秘跡

のように

他の人にとって

愛となる。

**こ**のパンをいただいた私たちは、周りの人々の精神的、物質的な飢えを満たすことができるようになります。キリスト者の共同体は、ご聖体の恵みによって、イエスの生き方にならうものとなっていき、他の人々にも神の愛と命を分かち合うことができるでしょう。

愛する

とは

どうということ?

**愛**するとは、すべての人と「一つになる」ことで、相手が見守るすべてにおいて、私たちが、その人と一つになることです。たとえ、自分にとっては小さく意味がないこと、あまり大切とは思えないことでも、相手に関心を持っているならば、私たちがそれに心を合わせましょう。私たちの愛によって、相手が「自分は養われた、慰められた、心が軽くなった、理解された」と感じるまで私たちがその人と一つになることです。